

## 石川県におけるがんの罹患と患者の生存率について

いとう 翫 幹夫<sup>\*1</sup> 酒井 健太郎<sup>\*2</sup> 竹本 玲湖<sup>\*2</sup> 村田 紀文<sup>\*3</sup>

### 1. はじめに

石川県では平成3年10月よりがん登録事業を開始し、平成15年で13年目を迎えた。このうち平成3年からの10年間に登録されたがん症例について累積集計を行った。

### 2. 対象

罹患・死亡集計は平成3年10月1日から平成12年12月31日までに登録された症例（10部位計30,271件）を対象にした。生存率についても同時期の14,904人を対象にした。

### 3. 年齢調整罹患率

平成3年から12年にかけての年齢調整罹患率の経年変化を図1に示す。胃がんは男女ともはっきりとした減少傾向が見られる。結腸、直腸についても減少傾向が見受けられるが、他の部位についてははっきりとした傾向が見られず横ばい傾向である。

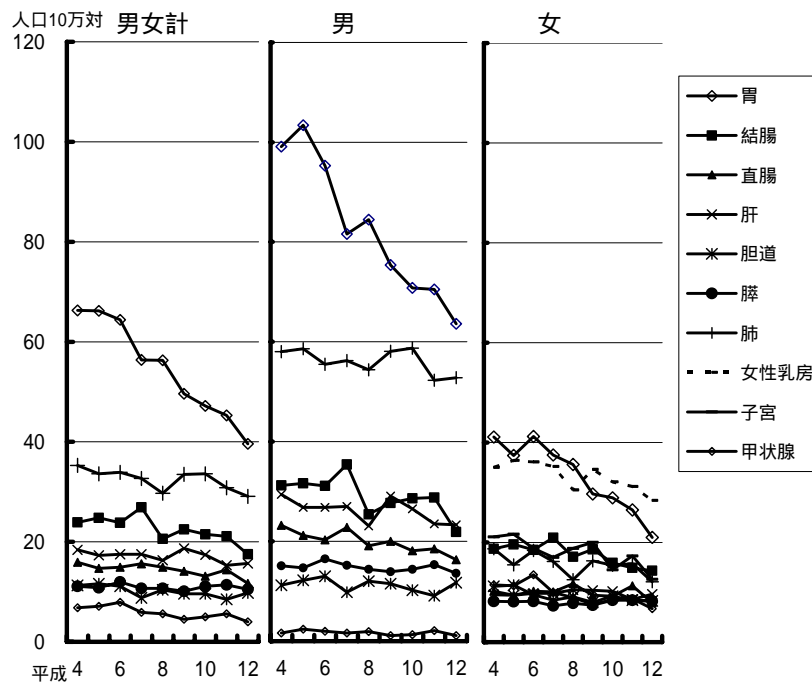


図1. 年齢調整罹患率の経年変化

\*1 石川県保健環境センター 〒920-1154 金沢市太陽が丘 1-11  
 \*2 石川県健康福祉部健康増進課 〒920-8580 金沢市鞍月 1-1  
 \*3 石川県医師会 〒920-8660 金沢市鞍月東 2-48

#### 4. 生存率

生存率は平成3年10月から平成12年の間に登録された患者を対象にした。図2に Kaplan-Meier法を用いて求めた5年生存率を示

す。石川県においては生存確認(予後調査)は行っていないため、高めに見積もっている可能性があり今後の課題となっている。

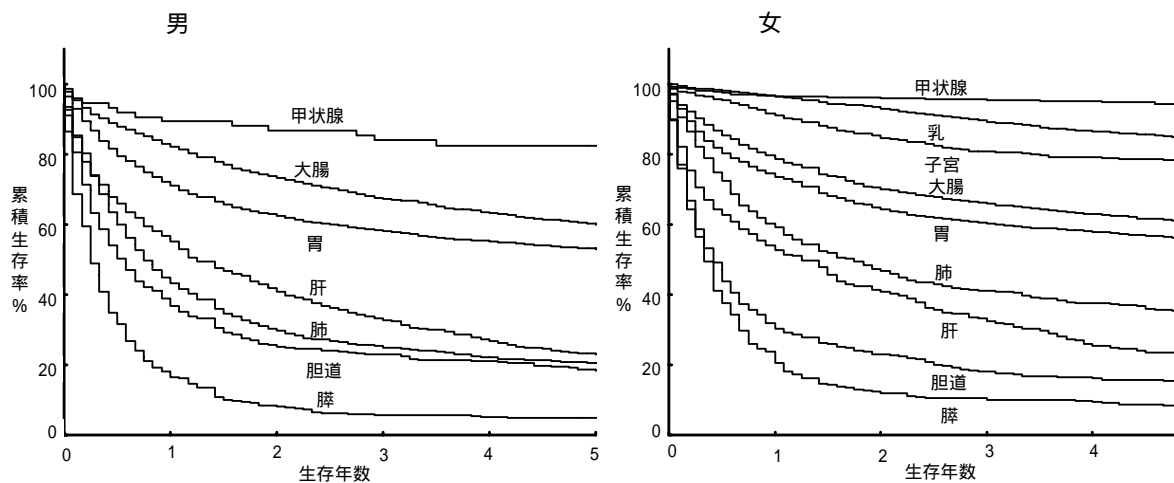


図2. 部位別生存率曲線(平成3年~平成12年)